

保健だより

2009(平成21)年8月25日

清教学園中・高等学校

保 健 室

新型インフルエンザ臨時号です！！

二学期が始まりました。夏休み中も新型インフルエンザ(H1N1)は、終息することなく続いているのが現状です。8月21日に厚生労働省より新型インフルエンザが全国的な流行期に入ったと発表されました。感染拡大をさせないよう、以下の点を再度ご確認ください。

最新インフルエンザ情報

～子どものインフルエンザ脳症で注意を呼びかけ～

インフルエンザ脳症は、インフルエンザによる発熱後、けいれんや意識障害を起こすもので、急速に悪化し、重い後遺症が残ったり、最悪の場合死亡することもあります。厚生労働省は、これまでに4歳から14歳までの6人が新型インフルエンザ感染による脳症を発症したという報告を受けています。厚生労働省は、呼びかけに答えない、意味不明の言動、けいれんなどインフルエンザ脳症の初期症状が現れた場合、すぐに小児科を受診することや、強い解熱剤は脳症を悪化させるため、子どもには使用しないよう呼びかけています。

二学期の登校について

毎朝、登校する前に以下の点を必ず各ご家庭で確認してください。

- ① 発熱やその他のインフルエンザ様症状がある場合(※)は、登校を控え、医療機関を受診の上、医師の指示に従ってください。
※ 「健康観察の手順と注意事項」を参照してください。
- ② 症状がない場合も登校する際には、自分用のマスクを持参してください。
- ③ 登校後に体調不良を感じた場合は、速やかに担任へ申し出てください。
- ④ 外から教室に入るときは、必ず「うがい」「手洗い」を実施し、少しでも体調が思わしくない場合はマスクを着用してください。
- ⑤ 各クラス保健委員の生徒の皆さんは、責任を持って休憩時間ごとに教室の換気を行ってください。(クラスの皆さんも協力してください)

健康観察についてのお願い

新型インフルエンザ発病の早期発見は、感染者本人にとって大変重要です。(抗インフルエンザ薬、タミフルは発病後 48 時間以内の服用が望ましいため)また、学校において、新型インフルエンザの感染拡大を防止する為には、有所見者の早期発見が不可欠です。その為、登校前は、必ず自宅にて健康観察を慎重にお願いします。感染拡大防止のためのご協力よろしくをお願いします。

★自宅で行う健康観察の手順と注意事項

毎朝、登校前に必ず実施してください。

必ず登校前に体温計で体温を測定してください。※体温計を持参できる人は持参してください。

次のような症状がないか、チェックしてください。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 発熱している(特に37.5度以上の発熱) | <input type="checkbox"/> 咳をしている |
| <input type="checkbox"/> 倦怠感(全身のだるさ)がある | <input type="checkbox"/> 咽頭痛がある |
| <input type="checkbox"/> 関節痛がある | <input type="checkbox"/> 鼻汁・鼻閉がある |
| <input type="checkbox"/> 筋肉痛がある | <input type="checkbox"/> 嘔吐している |
| <input type="checkbox"/> 頭痛がある | <input type="checkbox"/> 下痢・腹痛を起こしている |
| <input type="checkbox"/> 熱感・悪寒がある | |

上記症状があった場合

登校を控え病院受診する。
※必ず学校にその旨を連絡する

受診先病院に事前に必ず電話をする。
※現在は、最寄りの医療機関で診て頂くことができますが、受診時間などを指定される場合がありますので必ず電話をして、病院の指示に従ってください。

マスクを着用し、病院の指示に従って受診する。

病院受診結果を学校(担任)へ連絡する。

上記症状がない場合

マスクを持参の上、登校する。
手洗い・うがいを励行する。

登校後、症状が出た場合は無理をせず早急に担任へ申し出る。
※我慢することにより感染拡大につながってしまいます

発熱している場合

別室(個室)にて安静にして頂きます。

家庭連絡をさせていただきますので、お迎えをお願いします。

発熱していない場合

授業継続が困難と判断した場合は、家庭連絡後、早退して頂きます。